きこえ・ことばの教室だより

あくしゅ

所沢市立三ケ島小学校
通級指導教室

令和５年１１月

難聴の理解啓発授業を行いました！

毎年、三ケ島小学校の６年生の総合的な学習の時間に難聴の理解啓発授業を行っています。今年も６年生２クラスに実施しました。

児童は、聞こえにくい体験をしたり、『難聴理解かるた』を使って聞こえにくい人の気持ちを理解したり考えたりしました。コロナ禍でみんながマスクをしていた生活は、話している人の口元や表情など、難聴の人にとって重要な目からの情報が得られないので、どれだけ大変なことかということについても気づくことができました。また、聞こえにくい人にとって過ごしやすい環境は、聞こえる自分たちにとっても過ごしやすい、というユニバーサルの視点についても学びました。

☆子どもたちの感想（抜粋）☆

○補聴器は、後ろからはあまり聞こえないから、前に行って話そうと思いました。

○（耳が聞こえにくい人は、）校内放送などが苦手なら、地しんが起きたときとか分からないから、声をかけようと思いました。

○私は話したいことがたくさんあるので、ついつい早口になってしまいます。でもそれは、耳が聞こえにくい人だけでなく聞こえる人も聞き取りにくくなってしまうということを知りました。なので、だれにでも「ゆっくり・はっきり・短く」話そうと思いました。

○難聴の人がいたら、口で分かりやすく表現したいです。また、困っているときに、筆談などで助けたいです。

○どんな人も楽しくくらせる社会を作っていくことや想像力の大切さが分かりました。

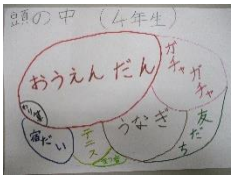
第１回「きつ音グループ学習会」を行いました！

１０月２３日に、今年度の１回目のグループ学習会を行いました。今回、３年生以下は「音読発表」、４年生以上は、吃音に関することで自分が調べたりまとめたりしたことを発表する「きつ音研究発表」を行いました。低学年は、人の前で仲間と一緒に発表することで「ドキドキしたけど発表して楽しかったな！みんなに聞いてもらえて嬉しかった！」という気持ちを味わい、成功経験を積み、自信につなげてほしいと願い計画しました。４年生以上は、吃音のことをよりよく知ることで、今よりもっと吃音とつきあいやすくなってほしいと思い計画しました。また、一人一役の役割も務めました。

どの子もしっかりと準備をして、当日は、堂々と立派に発表することが出来ました！人前で話す場数を多く踏むことで話すことへの抵抗をなくし、自信をつけ、学級や様々な場面でも話してみよう、色々なことに挑戦してみようという意欲につながるといいなと思っています。

プログラム

1 はじめのことば
2 じこしょうかい（学校名・学年・名前・今一番ほしいもの）
3 今日のめあて
　①「練習どおり 発表しよう！ ・ 友だちの発表を よく聞こう！」
　②「自分の役割を やりきろう！」
4 ダンスタイム♪ （親子でジンギスカンをおどろう！）
5 発表タイム　　音読の発表 「あいうえおうさま」・研究の発表
6 感想発表　　7 先生のお話　　8 おわりのことば



【音読発表】

絵本をみんなでリレー音読しました。オリジナルの文も考えました。どの子も本当に絵本にできそうなくらい、楽しいお話を考えていました。練習通り、ゆっくり、堂々と発表していました！

【研究発表】

「吃音のある人の割合」、「外国の吃音のある有名人」、今、世の中で話題になっている「吃音カフェ＝注文に時間がかかるカフェ」など、自分の興味を持ったテーマを調べてまとめました。自分の経験を元にまとめて発表した子たちもいます。通級する前と今の自分の頭の中を比べて、なぜそのように変化したのかを理由と共に発表しました。担任の先生や友だちに吃音のことを理解してもらったり、吃音について学んだりした結果、自分の吃音が気にならなくなったという内容でした。周りの人の吃音についての理解が、吃音のある子にとって重要だということを改めて学びました。自分の吃音が出やすい場面や出にくい場面をランキング形式で発表した子もいます。リラックスしていると吃音が出やすい・出にくい・・など、吃音の出やすい場面は人によって違うのだなと感じることができました。自分の経験や吃音についての知識をかわいくて分かりやすい紙芝居にして発表した子もいます。それぞれの子たちが吃音と向き合い、よく考え、まとめられていて、子どもたちも大人も学べる素晴らしい発表をすることができました！

☆保護者の感想（抜粋）☆　（子どもたちは、お互いにミニお手紙にして感想を伝え合いました。）

〇初めて学習会に参加させていただき、ありがとうございました。自分の担当するセリフは、家で何度も練習していました。当日も緊張している様子でしたが、大きな声ではっきりと言うことが出来、本人も自信がついたのではないでしょうか。普段は、人前で何かを発表することや日直等を嫌がりますが、先生の「どもっても大丈夫だからね。」の声かけもあり、安心感の中で発表できたようでした。子どもたちの発表中の温かな雰囲気は、優しさで溢れていました。

〇それぞれ一人一人の子が、とてもよく発表できていて、すごくキラキラして見えました。吃音の状態は様々でしたが、気にせず堂々と発表する姿は立派だと思いました。

〇夏休み前から発表内容を自分で考え、まとめ、取り組んでいました。自分の吃音のことを調べ、向き合い、知ることで、吃音についての理解もより深まったなと感じます。吃音という同じ課題を持つお友達の研究発表は、とても勉強になりました。皆さん堂々と発表していて立派でした。